

自販機専用カプセル商品「ガシャポン」^{エイチジー}HGシリーズ10周年
「ガシャポンEXPO HGシリーズ
10th ANNIVERSARY」開催

HGシリーズ販売累計数 1億7千万個を突破！

株式会社 バンダイ

本社：東京都台東区駒形1-4-8
社長：高須武男、資本金：243億円

(株)バンダイが1994年9月より販売している「ガシャポン(P4参照)」(自販機専用カプセル商品)の「HGシリーズ」(200円/300円・税込)が、2004年9月で10周年を迎えます。

ミニフィギュアブームの先駆けとも言えるHGシリーズは、販売累計数が1億7千万個を突破。2004年9月時点で約400シリーズを展開し、商品化したフィギュア(人形)の種類は2500体以上になります。

これを記念して8月21日(土)22日(日)に幕張メッセで行われる“キャラホビ2004”内で「ガシャポンEXPO HGシリーズ 10th ANNIVERSARY」を開催します。これまでの歴史はもちろん、今後のHGシリーズの一部を展示するほか、ファンの方々に参加していただく「ガシャポン グランプリ2004」や、限定品の販売等を行います。

つきましては、「ガシャポンEXPO HGシリーズ 10th ANNIVERSARY」にお越しいただき、ご取材下さいますようお願い申し上げます。お手数をおかけしますが、ご取材の際はバンダイ広報チームまでご一報いただきますよう、お願い申し上げます。

ガシャポンEXPO HGシリーズ 10th ANNIVERSARY

- 日時 : 2004年8月21日(土)、22日(日)
10:00~17:00(開場時間繰り上げの可能性あり)
- 場所 : 幕張メッセ「キャラホビ2004」会場内
- 入場料 : 前売券 大人1,300円(税込)当日券 大人1,500円(税込)小学生以下無料
- 内容 : HGシリーズ展示/HGシリーズの歴史/ガシャポン グランプリ2004/
限定品・先行販売等

「HGシリーズ」について

「HGシリーズ」のHGとは“High Grade (ハイグレード)”と“ハまる・ガシャポン”を意味します。

200円カプセル商品という低単価商品でありながら、ハイグレードの意味合いの通り、プロポーションや彩色など細部まで精密に作りこまれています。例えば特撮番組のキャラクターであれば着ぐるみの中に入っている人の体型や、着ぐるみを着たときのシワの寄り具合まで、こだわりをもって再現しています。

また、新旧様々なキャラクターを商品化しており、子供から大人まで世代を越えた支持を集めています。



「HGシリーズ ウルトラマン40 ~復活のバルタン星人編~」

©1966, 67, 79 円谷プロ

HGシリーズの歴史

「HGシリーズ」は1994年9月に第一弾商品（ウルトラマン）を発売。「親子ではまるガシャポン」をテーマに、ウルトラマン、ゴジラ、ガメラ、ガンダムなど親子2世代に人気のキャラクターフィギュアのシリーズとしてスタートしました。以来、フィギュアの質の高さから口コミで年齢層は拡大していきましたが、新世紀エヴァンゲリオンシリーズ（1996年11月～）、スーパーロボットシリーズ（1997年2月～）、仮面ライダーシリーズ（1997年5月～）などのシリーズ化により、大人のコレクションホビーとして年齢層が一気に拡大しました。

現在のコアターゲットは20～30歳の男性で、購買者のうち20歳以上の男性が占める割合が約70%と、若者・大人のホビーとして定着、子供に混じって大人がカプセル自販機で商品を買う姿も一般的となってきています。

また、従来の自販機販売商品とは別に、コンビニエンスストアを中心に販売を開始した「EXシリーズ」（1997年～）、従来のHGシリーズでは目の表情などの再現が難しかったアニメキャラクターを中心にした「HGIFシリーズ」（2001年～）が登場しました。そして新型自販機と共に2001年に登場した300円カプセル商品も、今まで以上のボリューム感や新しいカテゴリーとして多くの支持を得ています。

今後も進化し続けるHGシリーズにどうぞご期待ください。

10周年によせて

初代HGシリーズ 担当 齋藤 満春（ボーイズトイ事業部）

ついに10年経ちました。大変嬉しく思います。皆様ありがとうございます。

スタートした1994年当時のカプセルトイは、SDキャラクター全盛で、ほとんどが無彩色でした。小学生を中心としたカプセルトイの人気も厳しくなり、商品の工夫や高付加価値が要求される時代でもありました。そんな中「脱小学生、新しい顧客の創造」を一つのテーマとして生まれたのがHGシリーズでした。子供と一緒にお父さんにはまってもらうため、精密なディテール、スルドイ彩色など品質にこだわりました。「今のガシャポンはこんなにすごいのか！」と自分の子供時代のカプセルトイと比較回想してもらい、とにかくビックリさせようと思いましたが、当時はカプセルトイが大人に注目されていなかったのがシリーズ存続の危機もありましたが、本当にあきらめないでよかったと思います。これから先もガシャポンのブランドとして「HGシリーズ」をよろしく願います。超合金のように永続的にあってほしいと願っています。

現HGシリーズ 担当 井上 剛（ベンダー事業部）

HGシリーズはこの10年の間、何人もの担当者の手を経て、“ハまるガシャポン”“ハイグレード”の基本の上に、様々な変革を続けてきました。今後も「HGシリーズ」という名のもとに、10年、20年、30年と、常に新しいHGシリーズをお届けしたいと思っています。そして将来、自分の孫の世代にも、今のHGシリーズが誇れるものでありたいと思いますし、孫の世代に続いている新しいHGシリーズも素晴らしいと言われる商品であって欲しいと思っています。

HGシリーズは、現在の彩色リアルフィギュアのスタンダードとなりました。そして、これからも現状に留まることなく、その時代々のHGシリーズが常にリアルフィギュア業界をリードしつづけていける様にチャレンジ・進化をし続けていきます。

「ガシャポン」について

バンダイが1976年より事業展開しているカプセル自販機商品で、自販機のハンドルをまわし(ガシャ)、カプセルが出る(ポン)様子よりネーミング。全国の量販店の玩具売り場や玩具専門店などの店頭など約30万台の機械が設置されています。

現在商品ラインとしては価格帯別で100円、200円、300円、400円シリーズ(いずれも税込)の4シリーズで展開、自販機別では大量設置大量販売も可能な汎用機「カプセルステーション」、小スペース、アパレルショップ等新業態向け自販機「カプセルステーションミニ」、miniPEZシリーズを中心とした菓子自販機「スイーツステーション」の3シリーズで展開しています。

当社のガシャポンは、HGシリーズの他に、幼児層と母親層を中心に好評を得ているキャラクターマグネット「くつつくんですシリーズ」も、2003年10月で販売累計数1億個を突破する人気商品です。また、女性向け商材の強化を目的としたカプセル発のオリジナルキャラクターが好調で、特に「FROGSTYLE」は累計900万個を突破し、バンダイ各事業部やグループでの商品展開もスタートしています。

海外においても、欧州・アジア地区にてカプセル自販機を展開中で、今年はアメリカでもテスト販売を実施し、市場への本格導入を目指しています。



現在展開中の自販機

左から カプセルステーション カプセルステーションミニ スウィーツステーション

バンダイ ホームページURL : <http://www.bandai.co.jp/>
ガシャポンワールド ホームページURL : <http://www.bandai.co.jp/gashapon/>